

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 自己免疫性脳炎・ニューロパチーの発症機序に関する研究

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第五部 荒木敏之

【本研究の目的及び意義】

脳や神経の病気の中には、本来自分の体を守るために存在する「体外から侵入した微生物やタンパクを排除するためのメカニズム」が誤って自分の体の構成成分に対して攻撃を行い、炎症を引き起こすことによって生じる場合があることが知られています。自分の体を守るために存在するメカニズムのことを「免疫」といい、免疫システムが自分の体の構成成分を攻撃してしまう状態を「自己免疫」といいます。

本研究では、自己免疫が疑われる脳炎やニューロパチーの患者さんから血液を検体としてご提供いただき、このなかに自分の体のどのような構成成分を攻撃するものがあるかを分析することによって、脳炎やニューロパチーの病態の理解と治療法開発に役立てることを目的としております。

本研究は、国立精神・神経医療研究センターと国立病院機構静岡医療センターの共同研究として実施します。本研究では、血液検体を国立精神・神経医療研究センターで解析しますが、このたび、血清検体の一部をプロテオブリッジ株式会社でも解析することになりました。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年3月2日より2019年7月31日までの間に、国立病院機構静岡医療センターで脳炎または末梢神経炎と診断され、本研究に参加された方

利用する試料・情報等

試料:血液(血清)

情報等:なし

研究期間

2017年3月2日より2022年3月1日まで

【共同研究機関】

国立精神・神経医療研究センター 研究責任者 荒木敏之 (研究代表者)

国立病院機構静岡医療センター 研究責任者 溝口 功一

2020年2月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
所属 神経研究所疾病研究第五部 氏名 荒木敏之
電話番号 042-346-1716
e-mail: taraki※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)